

FY2021

2022年5月12日

株式会社 第一興商
2022年3月期
決算説明資料

DAIICHIKOSHO CO., LTD. Ended March 31, 2022 (FY2021)

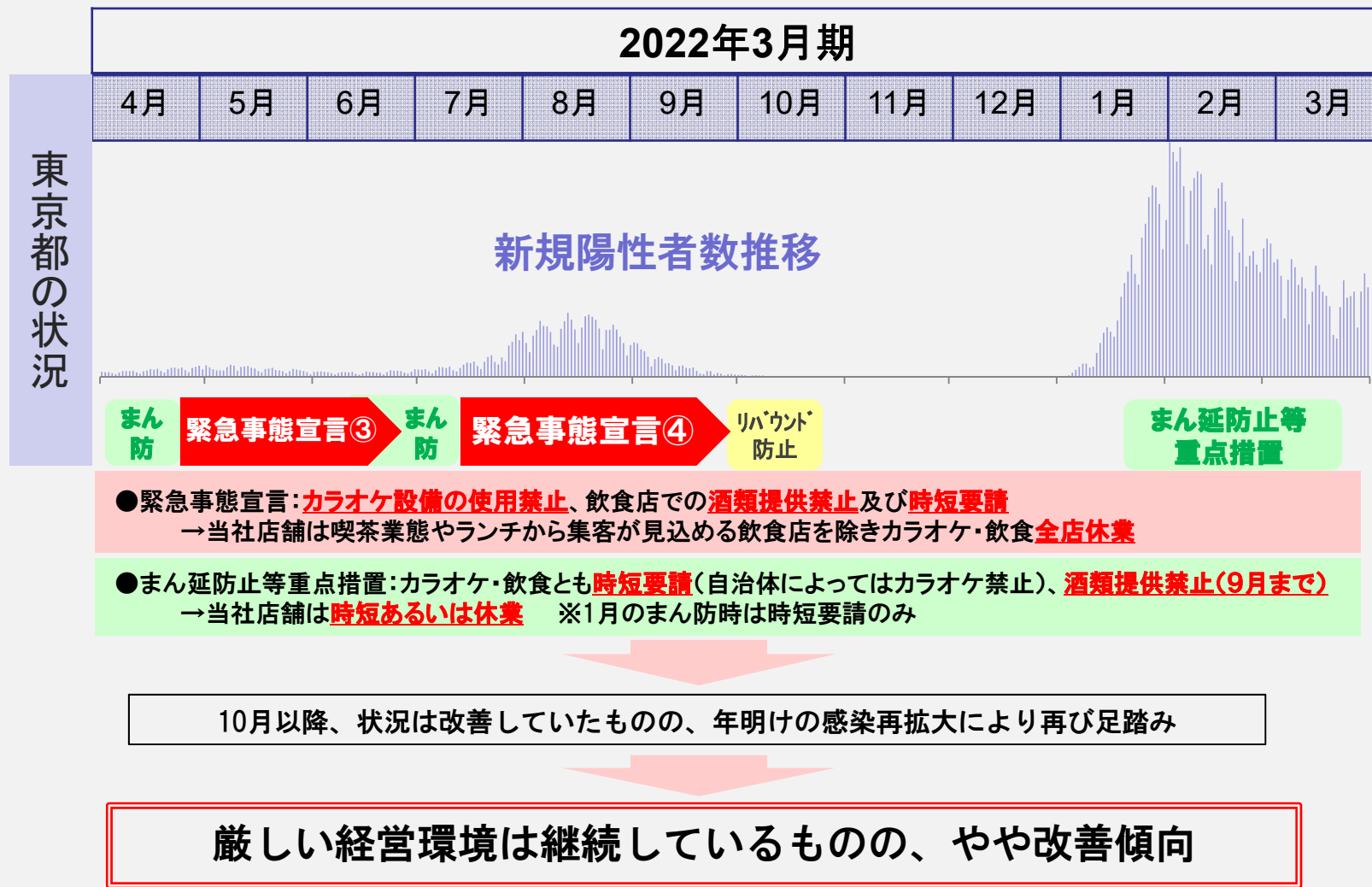
1. 2022年3月期 決算概要	p.2-14
・決算サマリー	
・事業環境	
・財務状況(連結貸借対照表)	
・損益状況 (業績2期比較、特別損益、四半期ごと売上推移)	
・セグメント別業績 (業務用カラオケ、カラオケ・飲食店舗、音楽ソフト、その他)	
・連結経営指標 (収益性、健全性、キャッシュフロー)	
2. 2023年3月期の見通し	p.15-16
・通期業績予想	
・株主還元(配当予想)	
3. 参考資料	p.17-21

2022年3月期 決算概要

《2022年3月期》

- 前期に続き新型コロナウイルス感染症の影響を受ける
- (業務用カラオケ)
 当期末のDAMの稼働台数は、若干ながら前期末を上回る } 前期比増収・増益
 機器賃貸料・情報提供料の減免は減少
- (カラオケ・飲食店舗)
 1Q・2Q:緊急事態宣言・まん防により多くの店舗で休業あるいは時短営業
 3Q:11~12月は通常営業 4Q:1月後半~3月後半、まん防による時短営業
 →前期比減収となるも営業損失は改善
- 雇用調整助成金・時短協力金等152億円を特別利益へ計上
- 緊急事態宣言対応に起因する固定費64億円を特別損失へ振替計上
- 連結売上高が1.6%増加し、利益面で大幅改善
 経常利益・当期純利益は2期ぶり黒字転換
- 進行期の通期業績予想はコロナ禍が再び拡大しないことを前提に算定
 売上高1,260億円 営業利益100億円 当期純利益90億円
- 東証の市場区分変更により上場市場を「プライム市場」に変更

《当期の事業環境》



(百万円)

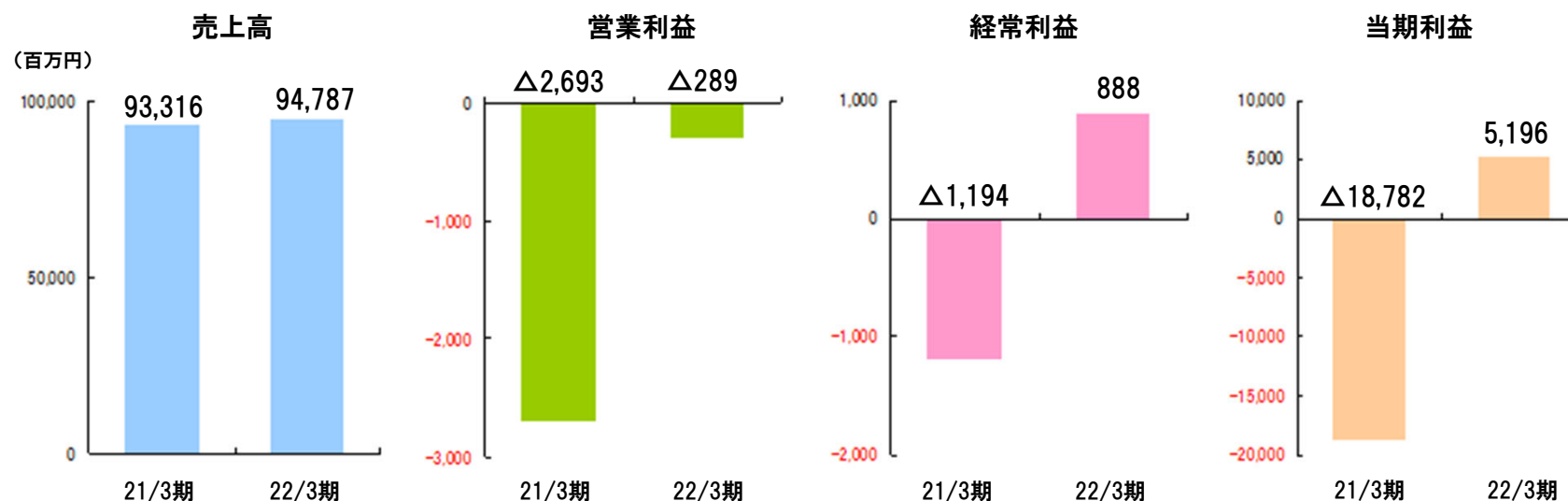
	21/3期末	22/3期末	期中増減	備考
資産の部	186,795	180,389	△6,405	
流動資産	86,780	84,277	△2,503	棚卸資産及び未収入金の減少
固定資産	100,014	96,112	△3,902	店舗設備等の減少
負債の部	80,765	75,229	△5,535	
流動負債	36,712	21,658	△15,053	借り換えによる一年内返済予定長期借入金の減少、返済による短期借入金の減少
固定負債	44,052	53,570	+9,517	借り換えによる長期借入金の増加
純資産の部	106,030	105,160	△869	

2022年3月期 決算概要 —業績2期比較—

FY2021

(百万円)

	21/3月期	(売上比)	22/3月期	(売上比)	対前期増減	増減率
売上高	93,316	(100.0%)	94,787	(100.0%)	1,470	1.6%
営業利益	△2,693	—	△289	—	2,403	—
経常利益	△1,194	—	888	(0.9%)	2,083	—
当期利益	△18,782	—	5,196	(5.5%)	23,978	—



【特別損益①】

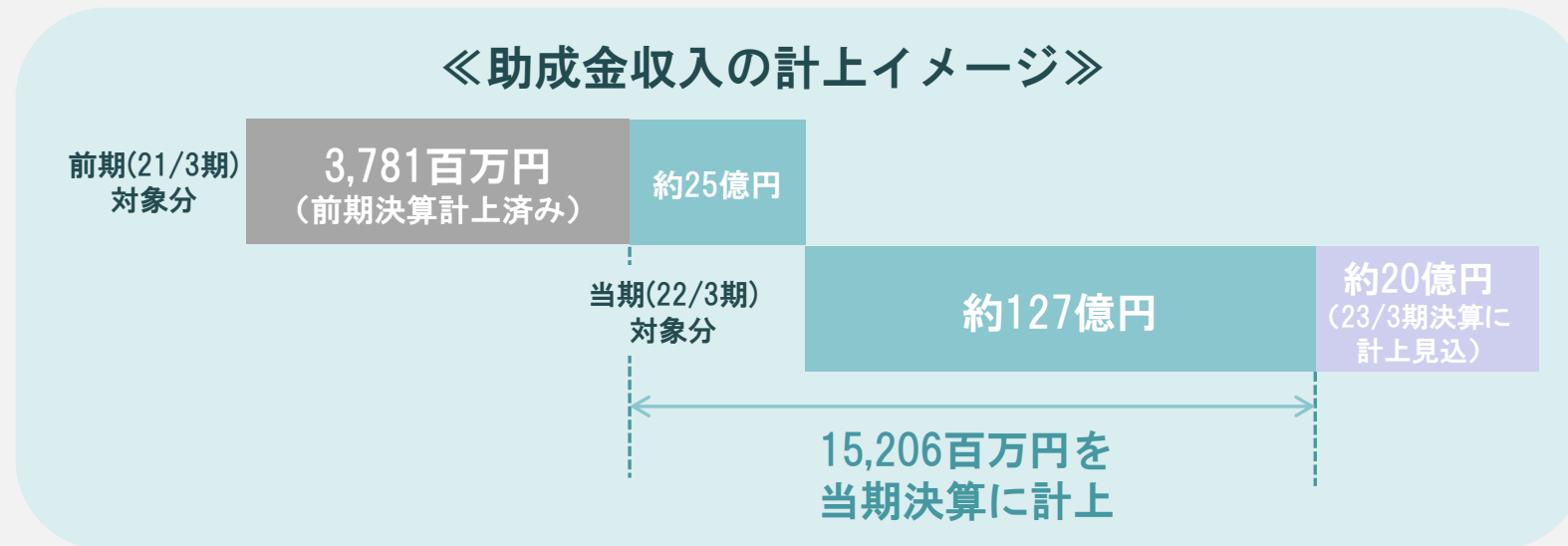
◆ 特別利益 15,311百万円

主な内容

- ・ 助成金収入 15,206百万円（前期は3,781百万円）

雇用調整助成金や時短協力金をはじめとする各種給付金等を特別利益に計上

《助成金収入の計上イメージ》



【特別損益②】

◆特別損失 8,505百万円

主な内容

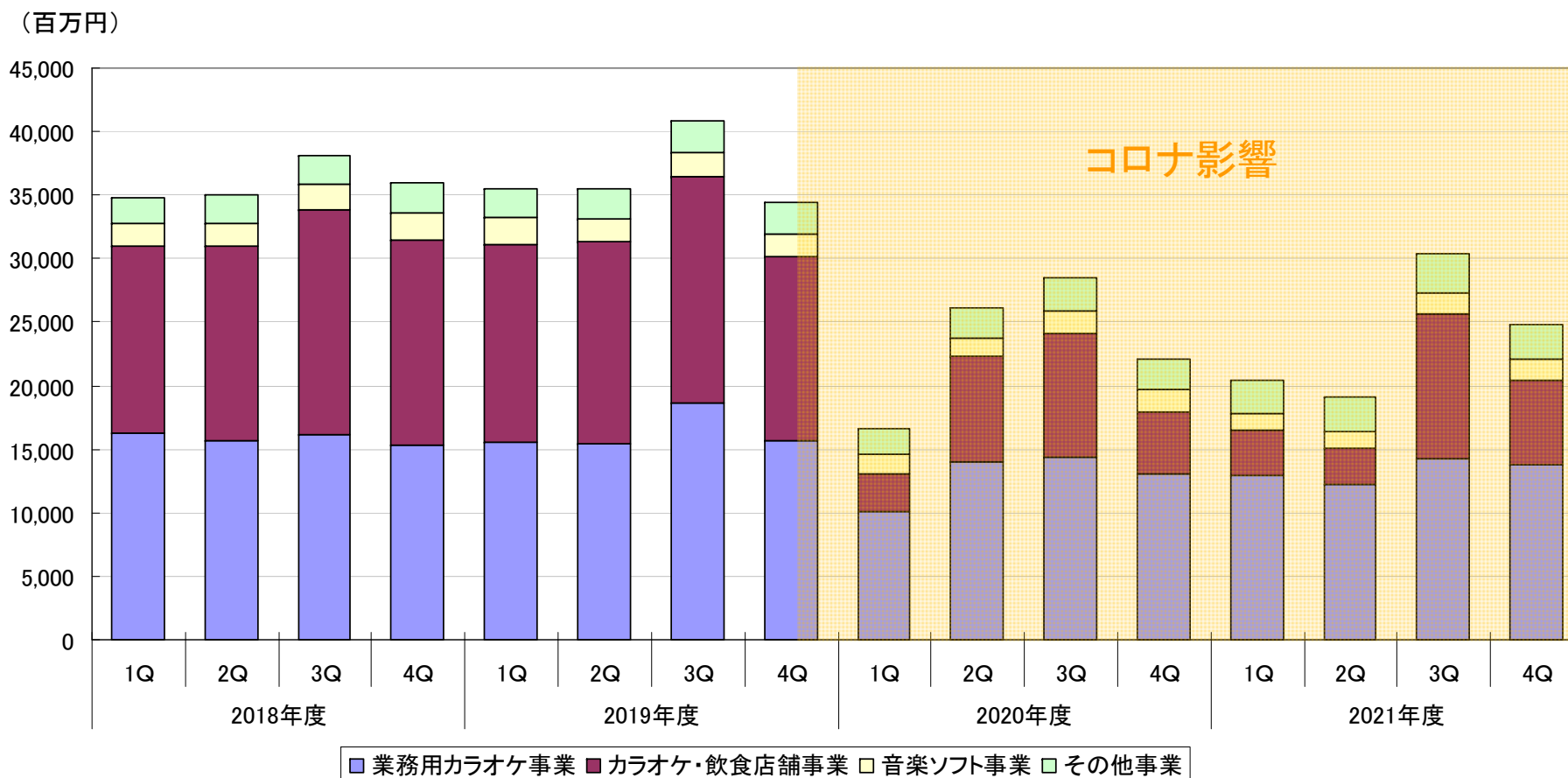
- ・ 新型コロナウイルス関連損失 6,452百万円（前期は8,883百万円）

緊急事態宣言への対応に起因した費用を特別損失に計上
内容は対象期間中の対象地域における当社運営店舗の固定費、業務用カラオケ機器の賃貸等に係る固定費

《内訳》

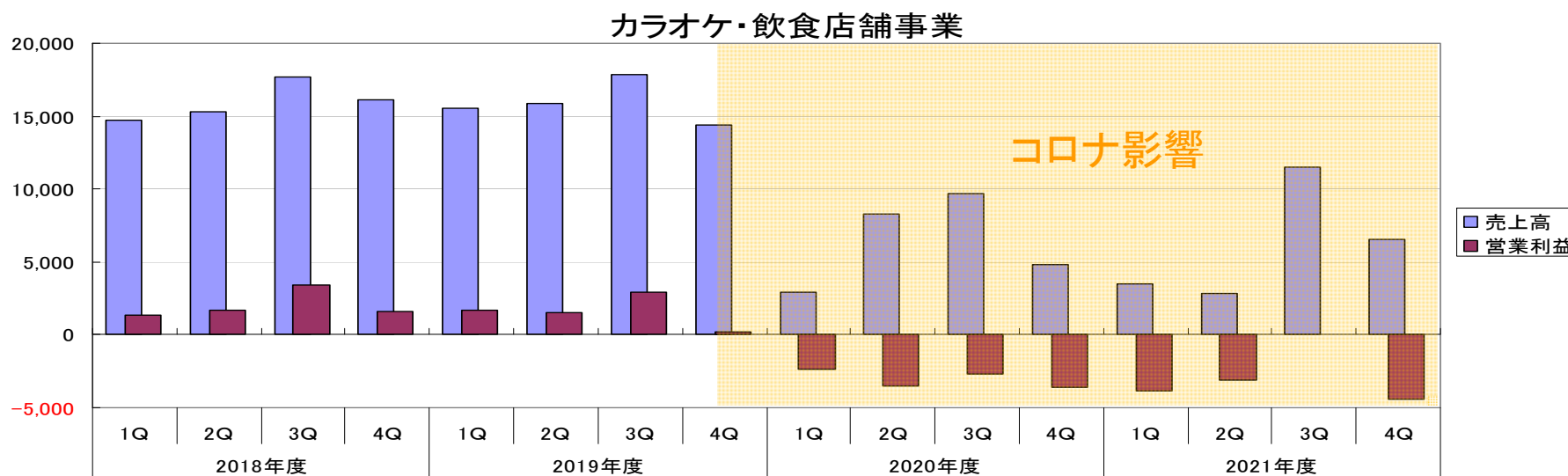
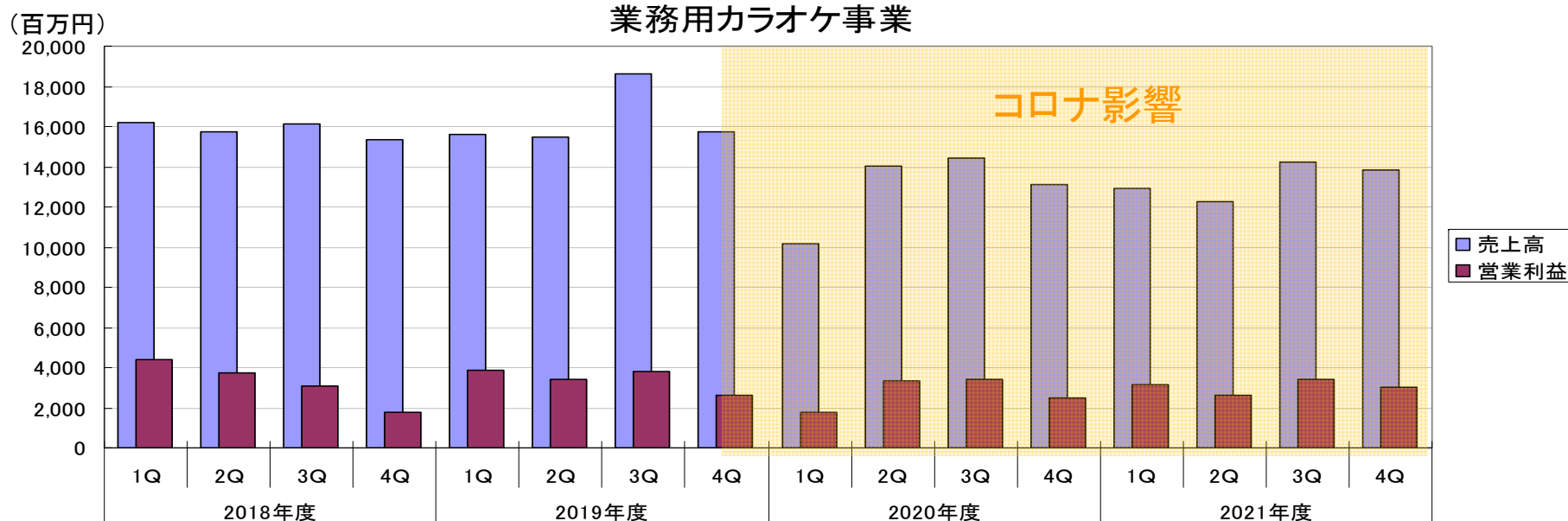
・業務用カラオケ事業	599百万円	（前期は1,887百万円）
・カラオケ・飲食店舗事業	5,820百万円	（前期は6,935百万円）
・全社費用	32百万円	（前期は 60百万円）

- ・ 減損損失 1,862百万円（前期は12,606百万円）



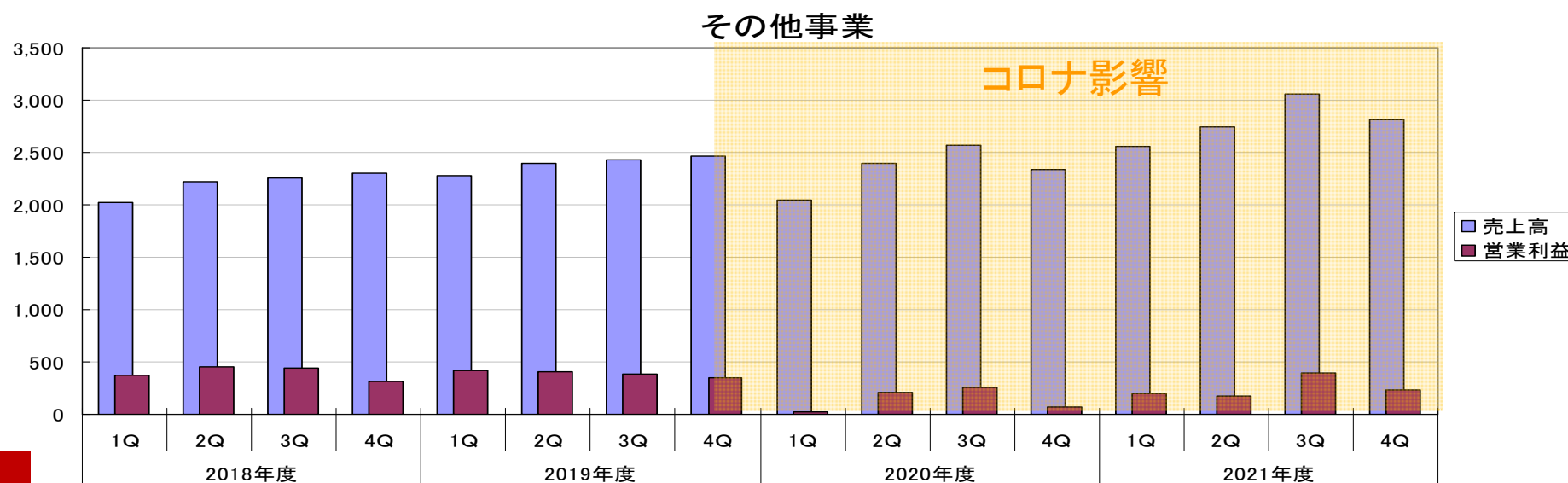
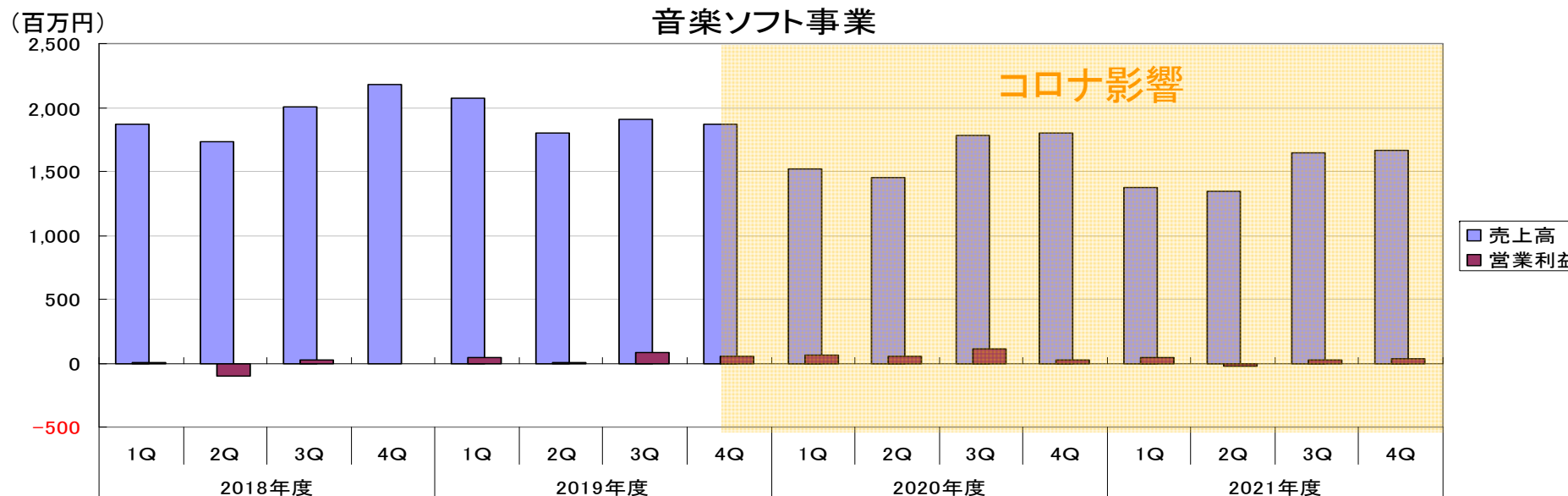
2022年3月期 決算概要 –セグメントごと業績推移–

FY2021



2022年3月期 決算概要 -セグメントごと業績推移-

FY2021



2022年3月期 決算概要 – 業務用カラオケ –

FY2021

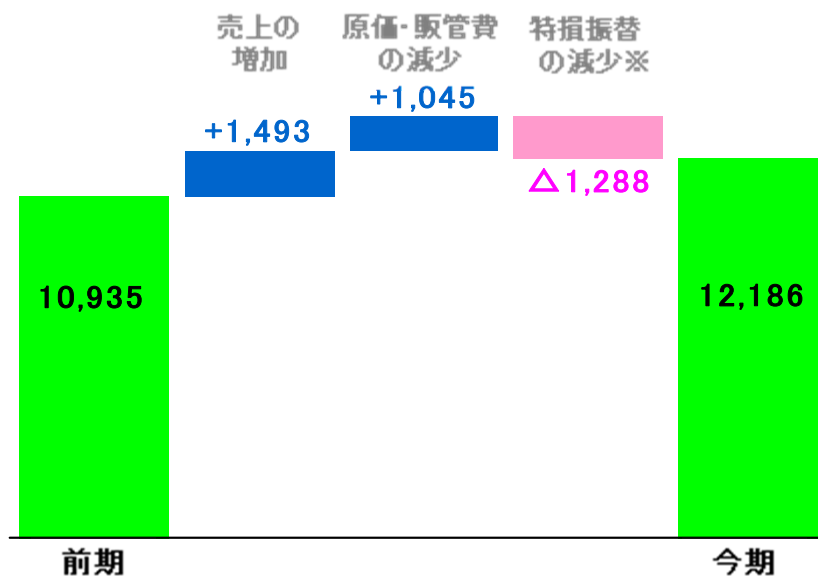
業務用カラオケ事業

(百万円)

	21年3月期	(売上比)	22年3月期	(売上比)	対前期増減	増減率
売上高	51,695	(100.0%)	53,188	(100.0%)	1,493	2.9%
営業利益	10,935	(21.2%)	12,186	(22.9%)	1,250	11.4%

※ 減免施策に係る固定費等599百万円(前年同期は1,887百万円)を「新型コロナウイルス関連損失」に振替え計上しております。

セグメント利益の増減要因



[ポイント]

- コロナ禍の影響長期化に伴い、感染予防関連商品の提案・販売を通じた顧客支援を継続
- エルダー市場においては、オンラインイベントなどを活用し、高齢者の健康維持に有効なカラオケ活用の認知拡大に努める
- ナイト市場向け「CyberDAM+」発売による商品ラインアップ強化及び新コンテンツ「ライブビュー！」リリースなど映像コンテンツ充実によるDAMの商品力強化
- 10月以降休業店舗再開や新規開店が増加傾向
- 年明けの感染再拡大の影響を受けるも、前期末に比べ稼働台数が若干増加したことにより増収・増益

※当該セグメントの原価・販管費から「新型コロナウイルス関連損失」への振替え計上額が前年同期に比べ1,288百万円減少したことによるものです

2022年3月期 決算概要 –カラオケ・飲食店舗–

FY2021

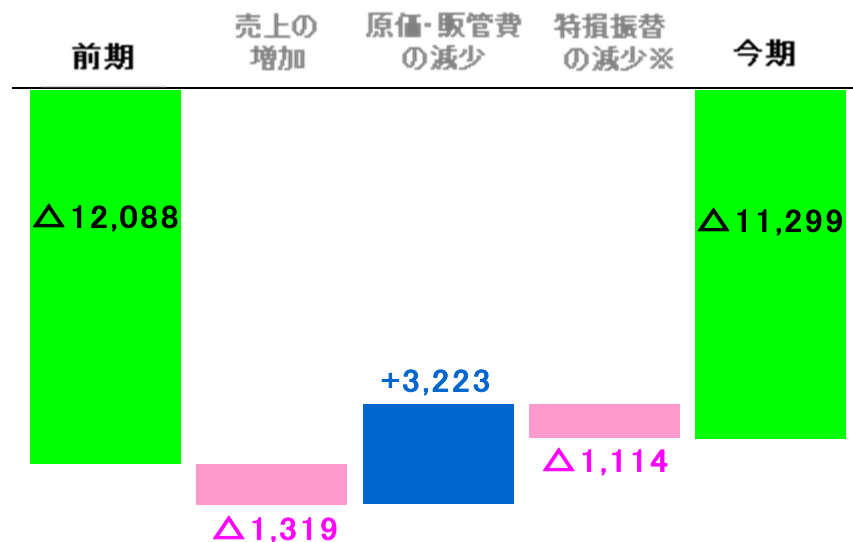
カラオケ・飲食店舗事業

(百万円)

	21年3月期	(売上比)	22年3月期	(売上比)	対前期増減	増減率
売上高	25,722	(100.0%)	24,402	(100.0%)	△1,319	△5.1%
営業利益	△12,088	-	△11,299	-	788	-

※ 休業期間中の運営店舗の固定費等5,820百万円(前年同期は6,935百万円)を「新型コロナウイルス関連損失」に振替え計上しております。

セグメント利益の増減要因



※当該セグメントの原価・販管費から「新型コロナウイルス関連損失」への振替え計上額が前期に比べ1,114百万円減少したことによるものです

[ポイント]

- カラオケ:出店5 閉店23 期末店舗数503
飲食 :出店3 閉店6 期末店舗数175
- 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う要請により、休業・時短営業等による影響が継続
- 固定費の低減に努めるとともに、デリバリー業態の拡充など「出を抑え、入りを増やす」ための施策を継続
- 顧客満足度向上につなげるため、最上位機種「LIVE DAM Ai(ライブダムアイ)」への入替を推進したほか、全店全ルームにハーモニーピンク/ホワイトのマイクを導入
- 助成金も活用し、集客回復時に備え雇用と店舗設備の維持に努める

2022年3月期 決算概要 –音楽ソフト/その他–

FY2021

音楽ソフト事業

(百万円)

	21年3月期	(売上比)	22年3月期	(売上比)	対前期増減	増減率
売上高	6,548	(100.0%)	6,029	(100.0%)	△518	△7.9%
営業利益	254	(3.9%)	79	(1.3%)	△174	△68.6%

[ポイント]

■ 新曲の発売延期やイベント中止による商品販売減少などの影響を受けるなか、販売費等のコストコントロールに努める

その他事業

(百万円)

	21年3月期	(売上比)	22年3月期	(売上比)	対前期増減	増減率
売上高	9,350	(100.0%)	11,166	(100.0%)	1,815	19.4%
営業利益	553	(5.9%)	1,006	(9.0%)	453	82.0%

[ポイント]

- BGM放送は、飲食店・カラオケ店への設置が多いため、コロナ禍によるマイナス影響が継続
- 外出自粛に伴う巣ごもり需要により、家庭用カラオケサービス「カラオケ@DAM」は好調に推移
- 「ザ・パーク」ブランドで展開するパーキング事業は駐車場の新規開設が好調に推移し、期末時点で1,700施設、22,000車室超

収益性指標

	21年3月期	22年3月期	増減
ROE(株主資本利益率)	△15.7%	5.0%	+20.7%
売上高営業利益率(%)	△2.9%	△0.3%	+2.6%
1株当たり当期利益(円)	△338円54銭	95円21銭	+433円75銭

健全性指標

	21年3月期	22年3月期	増減
純資産(百万円)	106,030	105,160	△869
自己資本比率(%)	55.8%	57.4%	1.7%
1株当たり純資産(円)	1,912円19銭	1,896円65銭	△15円54銭

キャッシュ・フロー

	21年3月期	22年3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,755	18,165	+10,409
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,539	△9,297	+242
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,174	△8,487	△30,662
現金及び現金同等物の増減額	20,447	445	△20,002
現金及び現金同等物の期末残高	67,680	68,125	+445
フリーキャッシュ・フロー	△1,783	8,868	+10,652

(百万円)

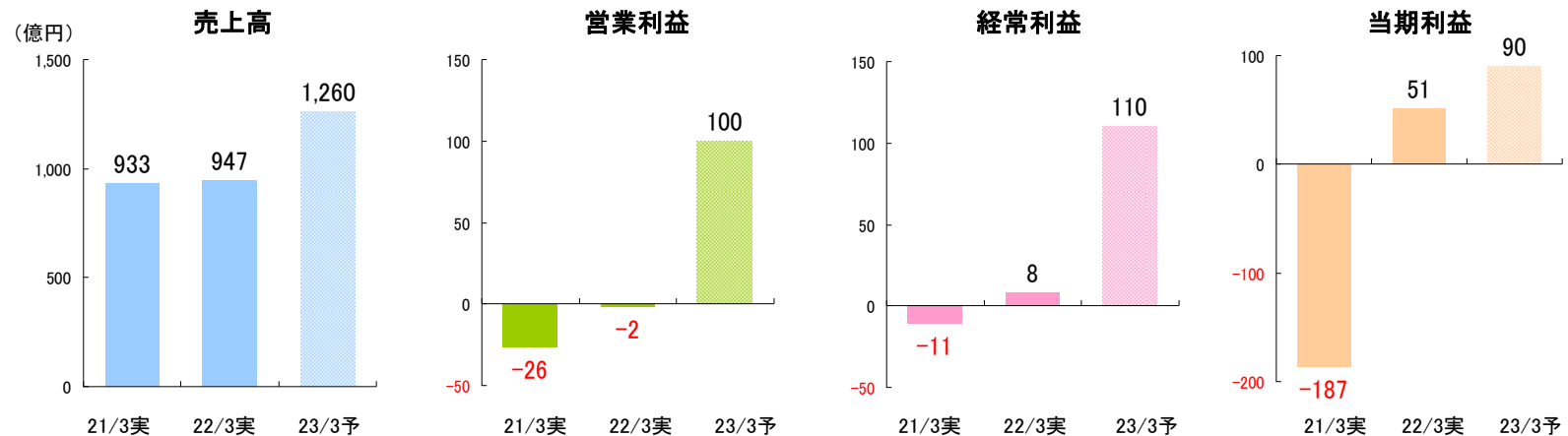
2023年3月期の見通し

2023年3月期の見通し - 通期業績予想 -

FY2021

(百万円)

	2021年3月期 FY2020	2022年3月期 FY2021	2023年3月期(予想) FY2022
売上高	93,316 (100.0%)	94,787 (100.0%)	126,000 (100.0%)
営業利益	△2,693 -	△289 -	10,000 7.9%
経常利益	△1,194 -	888 0.9%	11,000 8.7%
当期利益	△18,782 -	5,196 5.5%	9,000 7.1%
1株純利益(EPS)	△338円54銭	95円21銭	164円86銭



※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
また、新型コロナウイルス感染症については、今後、全国的な再拡大は発生せず、緩やかに回復基調で推移することを前提として作成しております。

利益配分に関する基本方針

■配当方針

- ・将来の投資等のための内部留保を勘案し、連結業績に応じた積極的な利益還元を行う
- ・連結配当性向30%以上を目安に配当を実施
- ・資本効率の向上のための自己株式取得も適時に実施

■配当予想

- ・当期は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け赤字決算となったが、今後の経営環境を勘案した上、前期実績と同額とした
- ・今期配当予想についても同様に、前期実績と同額とした

1株当たり配当金	22年3月期			23年3月期予想		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
	56円	57円	113円	56円(予)	57円(予)	113円(予)
配当性向	118.7%			68.5%		

■自己株式取得等

18年11月	314,000株 (1,676百万円)	を取得
19年11月 ~ 20年 1月	273,400株 (1,499百万円)	を取得
20年 3月 ~ 20年 6月	500,000株 (1,587百万円)	を取得
20年 8月 ~ 21年 3月	1,379,800株 (4,999百万円)	を取得
21年 5月	2,500,000株	を消却

参考資料

LIVE DAM Ai (DAM-XG8000)

業界初の
AI深層学習モデルを採用



- 音声認識機能「Aiアシスタント」を搭載
- 「インフィニティーミラー」によるライティング演出
- 業界初「東京ドーム」「ナゴヤドーム」をリアルに再現した音源搭載
- 業界初の感性で歌唱力を評価する精密採点ゲーム

Party DAM 20V (DAM-PD20V)

一体型移動式で
宿泊市場・宴会市場向け



- 講演会などの演台としても利用できるよう、上部ディスプレイは本体に収容可能
- ホテル・旅館や結婚式場など、さまざまなシーンを演出する多彩なパーティコンテンツ

Cyber DAM + (DAM-G100W)

ナイトシーンに特化した
楽曲ラインナップ



- 業界初のダブルモニター搭載、抗ウイルス・抗菌コーティング加工
- 「ライブエコー」で臨場感プラス
- ナイト市場で好評の演歌・歌謡曲、外国曲・デュエット曲を大幅に強化

FREE DAM HD (DAM-F750HD)

映像くっきり、音はつきり
DKエルダーシステム推奨機



- フルハイビジョン対応オールインワン設計
- 低音域がしっかり聞き取れる大型ウーファ
- 利用者と目的に応じた多彩なコンテンツ

SmartDAM Ai (TM30)

Ai搭載により楽曲検索力や
学習力がパワーアップ！



- 紙の目次本の感覚を再現したアプリを搭載
- あいまいな入力でもAIがアシスタント
- 10.1インチタッチパネルの前面にダイレクトキー（演奏中止、TOP、もどる、リモコン）を配置

ハーモニーマイク (WITM-500P/W)

より歌いやすい音質に変わる
“DAMボタン”を搭載



- DAMのカラオケ機器との相性を最適化した、赤外線ワイヤレス
- 高音質でハウリングにも強い
- シャープ ↔マイルドの音質切替スイッチを搭載

迫力のライブ体験をあなたに

ライブビュー!

「LIVE+You（ライブをもっとあなたの身近に）」。

「ライブビュー！」はカラオケボックスで体験していただく長尺のライブ映像、LIVE DAM Ai 新コンテンツです。

メジャーアーティスト達の高品質なライブを、大型モニターと迫力の音響環境で、いつでも自由に楽しんでいただくことができます。

「ライブビュー！」では、毎月人気アーティストのハイクオリティーなライブ映像を配信していく予定です。



04 Limited Sazabys



ゆず



WANIMA



THE RAMPAGE from EXILE TRIBE

カラオケブランド

ビッグエコー



カラオケマック



カラオケCLUB DAM



メガビッグ

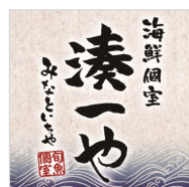


飲食店舗ブランド

ダイニング



楽蔵



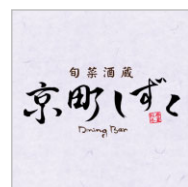
湊一や



鮮や一夜



ウメ子の家



京町しずく



ひすとろ家



じぶんどき



せせらぎを聴きながら



うえのとり



十勝石狩函館



鮭やハレの日

バル



キッチン



あまつ

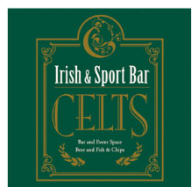


炉区（ロック）



IL MARE (イルマーレ)

バー



CELTs

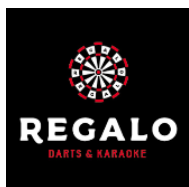


HIGHBALL BAR



J's Bar

アミューズメント



REGALO



MARUNOUCHI BASE

食事



銀座珈琲店



もちの木パスタ



Time is Curry



いちだん



◆演歌・歌謡曲

田中あいみ

音楽業界向けに開催した業界初のオンラインコンベンションでは、スポーツ紙で大きく掲載されるなど注目度が急上昇。新人では異例のテレビ歌番組に多数出演。ラジオOAチャート11月度月間2位、USEN12月度月間ヒットランキング1位を獲得。今年5月には覆面シンガーAiMi名義で配信シングル「Ray of Light / 揺らめく」を発売。SNSを中心に早くも話題に。9月には待望のワンマンライブを恵比寿リキッドルームで開催予定。



◆J-POP

ベリーグッドマン

2019年から3年連続プロ野球選手登場曲／人気アーティスト第3位。今年には阪神タイガース開幕戦での歌唱も実現。ラブソング曲は大切な人を想う歌詞に多くの共感が寄せられ、SNSでは楽曲を使用した動画が多く投稿。今年1月に開催したツアーの一部を生配信したTik Tokは、累計視聴者数 約6万人を記録。阪神甲子園球場でのワンマンライブが目標。



◆演歌・歌謡曲

吉 幾三

今年3月から、芸能生活50年目に突入した世紀のエンターティナー。50周年記念シングル「頼り頼られ…」、記念アルバム「ギターと吉と」を3月に発売し、2022年は記念シングル&アルバムが多数発売予定。さらに50周年特別公演も、名古屋・大阪・東京・福岡・青森と予定されており、第一部のお芝居では原案と音楽を、第二部の歌謡ショーでは構成・演出を吉 幾三本人が担当し、記念イヤーを盛り上げるべく精力的に活動中。



◆J-POP

Jams Collection

2021年3月ステージデビューした9人組アイドルグループ。同年8月に1stワンマンライブをTSUTAYA O-EASTにて、今年3月にはZepp Hanedalにて2ndワンマンライブをSold Out。ビッグエコーパーティーコースサポーターとして3月より店内放映のCMIに出演。デビューミニアルバムのリード曲「疾走ドリーマー」も同CMソングに採用。今最も勢いのあるニュー・アイドル。



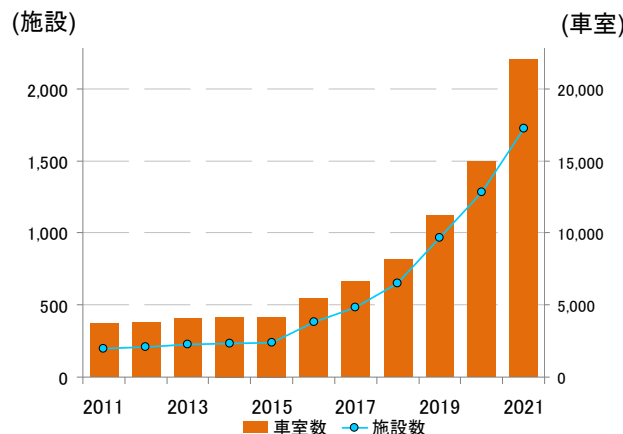
パーキングビジネス

土地活用を提案し、さらなる価値の創造を



カラオケ業界のリーディングカンパニーとして全国のお客様と築き上げた信頼関係を武器に、コインパーキング「ザ・パーク」の名称で事業展開しており、地域社会への貢献とお客様に安心・安全でご満足いただける土地の有効活用をご提案しています。コインパーキング開設からアフターフォローまで、全面的にサポートします。

当社の新たな収益の柱とするべく全国的に推進しており、2022年3月末現在で1,700施設・22,000車室を超える規模に拡大しています。



BGM放送事業



【業務用】
専用モバイル回線を利用したBGMサービス。



【業務用】
NTTのフレッツ光回線を利用したBGMサービス。



【家庭用】
「スカパー！プレミアムサービス」または「スカパー！プレミアムサービス光」で利用できる音楽放送。

Webビジネス



通信カラオケDAMと連動したカラオケユーザーコミュニティサービス。カラオケを撮影・録音したり、ネットに公開できる会員制サービス。



インターネットストリーミングカラオケ。パソコンで映像・歌詞テロップ付きのカラオケが楽しめる月額制サービス。



DAMのモニターで表示している歌詞テロップを、パソコンで閲覧できる月額制サービス。

本資料に掲載の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するご質問等は、経営企画部
TEL:03-3280-2774までお願いいたします。